

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】	SOS-KANTO シリーズ研究（SOS-KANTO 2012 および SOS-KANTO 2017）を用いた院外心肺停止に関する多面的解析研究		
1. 研究の目的と方法	<p>院外心肺停止は、病院の外で心臓や呼吸が停止した状態を指し、現在でも救命率や後遺症の改善が重要な課題となっています。しかし、どのような患者さんが救命されやすいのか、どのような治療や対応が良い結果につながるのかについては、十分に解明されていない点が残されています。</p> <p>日本救急医学会関東地方会では、過去に院外心肺停止患者さんに関する情報を収集した大規模な研究（SOS-KANTO 2012 および SOS-KANTO 2017）を実施しており、そのデータベースには、患者さんの背景、発症状況、救急搬送時の対応、関東の医療機関での治療内容および転帰などの情報が登録されています。</p> <p>本研究では、SOS-KANTO 2012 および 2017 研究で収集された情報の提供を受け、本学において解析を行います。患者さんの背景、心肺停止発生時の状況、病院前救護、病院で行われた治療およびその後の経過などを調べることで、院外心肺停止診療の現状や予後に関連する要因を明らかにし、将来の救急医療の向上に役立てることを目的としています。</p> <p>なお、本研究で SOS-KANTO から提供を受ける情報には、お名前、住所、カルテ番号など、個人を直接識別できる情報は含まれていません。そのため、本学の研究者が患者さん個人を特定することはできません。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2012年から2014年、または2019年から2020年にかけて実施された SOS-KANTO 2012 または SOS-KANTO 2017 において、病院の外で心停止となり、研究に登録された方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、既往歴等の患者背景、心停止発生時の状況、救急搬送時の対応、心電図所見、原因疾患、病院での治療内容、治療までの時間に関する情報、自己心拍再開（ROSC）の有無、生存退院の有無、神経学的転帰等	
	(4) 情報の取得の方法	過去の先行研究、SOS-KANTO 2012 および SOS-KANTO 2017 で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの情報は、以下の研究者が研究のために利用します。		
	試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座
	氏名	田上隆	

	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 情報を他機関とやり取りすることについて	<p>本研究では、本学から外部機関へ情報を提供することはありません。</p> <p>一方で、本研究の実施にあたり、SOS-KANTO 2012 および SOS-KANTO 2017 で収集された情報について、SOS-KANTO 委員会（研究事務局：日本救急医学会関東地方会事務局）から提供を受けます。提供される情報には、お名前や住所などの個人を特定できる情報は含まれていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供方法：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 ・情報の利用または提供予定開始日：2026年6月末日～ 	
【問い合わせ先】	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座</p> <p>研究責任者：教授 田上 隆（タガミ タカシ）</p> <p>窓口担当者：助教 吉野 雄大（ヨシノ ユウダイ）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 2096）</p> <p>対応時間：平日 9:00 ～ 17:00</p>	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除されています。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。